

インシデントレポート

活用していますか？



『そのインシデントレポート、未来を変えるチャンスに』

報告が個人の問題から
組織の改善へと繋がる鍵です

インシデントレポートの役割

① 見える化

現場の課題を共有

② 素早く対応

患者の安全を確保

③ 防ぐ

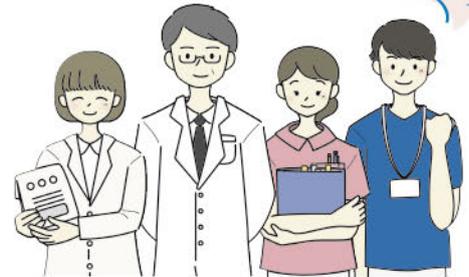
再発防止につなげる

④ 改善

現場の「声」からシステム改善へ

⑤ 育てる

チーム全体の安全の意識を向上



インシデント・アクシデントレポートから読み取る重要なことって？

本当のポイントはここ!!

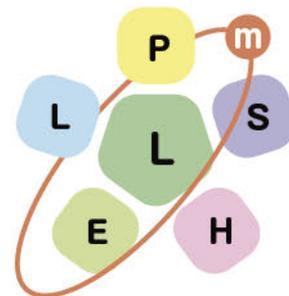
医療安全管理者が見る視点

インシデントレポートを読む際の確認事項

- なぜおきたのだろう (根本原因)
- カルテ記載ができているのかな
 - ・患者の状態
 - ・患者・家族への説明、対応
- アクシデント発生時には初動対応・患者の安全が第1
- 物品 (心電図波形・使用した機器等) の保全をしよう
- 同意書の有無・事前のI.Cの有無
+その際の患者・家族の反応
- チーム内でのサポート体制

PmSHELLモデル

! 分析をする際に使えるよ



Patient (P)	患者の特性
Management (m)	組織的側面、文化、管理等
Software (S)	プロセス、手順、ガイドラインなど
Hardware (H)	設備・医療機器、医薬品など
Environment (E)	作業が行われる環境
Liveware (L)	当事者の特性、知識、行動傾向等
Liveware-Liveware (L-L)	チーム内の協力、コミュニケーションなど

医療安全管理者、安全管理に携わる皆さま



「**支部医療安全交流会**」に参加して、
相談や情報交換、解決に向けたスキルを高め合おう

大阪府看護協会では、安全管理に携わる者で構成する「医療安全対策委員会」を中心とした11支部の医療機関が、「支部医療安全交流会」に参加してネットワークの構築を図っています。医療安全管理者として、ぜひ参加しませんか。



参加はこちらをクリック!